



病害虫注意報 2024年12月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

# 白さび病の発生に注意し

閉めきったハウス内は湿度が高くなり、白さび病が発生しやすくなります。 また、低温期ですが乾燥しやすい所を中心にハダニ類の発生にもご注意ください。



## 症状

- ▶葉に白い隆起した斑点が発生。

## 多発条件

- ▶15~20℃の気温。
- ▶多湿条件(湿度90%以上)や葉の結露。
- ▶降水量が多く、比較的冷涼な時期。
- ▶肥料不足、または極端な窒素過多。

# 対策

- ▶茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある。▶循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
  - ▶予防的に薬剤散布を行う
  - ▶適切な施肥量で管理を行う
  - ▶排水不良圃場では、排水を良好にする。
  - ▶発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却 もしくは土中深くに埋める。



今月のおすすめローテーション 🎪 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。 品種、栽培条件によっては薬害が発生する 場合があるためご注意ください。 さらに、 展着剤・薬面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

	・ プラブラグラグラグラグ アンドラグ アンドラグ 場合があるにめて注意ください。 さらに、 展有剤・楽面散や剤等を加用する場合もで注意ください。						
時 期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	
定植時	P02	白さび病	inochioキクッチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回	
生育	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	500~800倍	_	8回	
初期	2A	л́ <b>э</b> °∷類	ペンタック水和剤※	1,000倍	_		
消灯	11	白さび病・褐斑病	メジャーフロアブル	2,000倍	発病初期	3回	
時	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回	
発蕾	39	白さび病・アブラムシ類 うどんこ病	プ ピリカット乳剤	1,000倍 (うどんご病:2000 倍)	発生·発病 初期	6回	
時	20D	ナミハタ゛ニ	マイトコーネフロアブル	1000倍	開花前まで	1回	
破蕾	7	白さび病	<del>:治</del> カナメフロアブル	4,000~8,000倍	発病初期	3回	
時	25A		ダニサラバフロアブル※	1,000倍	発生初期	2回	

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※花き類・観葉植物登録

育苗期·生育期:1,000倍 イノチオのバイオスティミュラント! 光合成・発根の促進におすすめ

- ▶ コリンによる光合成促進と発根促進
- ▶海藻エキスによる発根促進
- ▶転流を促進



肥料登録番号 生第101491号

温風加温器の吹き出し口付近に置くだけ!

有効成分はシナモンの主成分と同じ ハチや天敵への影響も少ない剤です

灰色かび病、すすかび病 30ml/10a/日

